

60th
Anniversary



Japan Beverage Report 2018



人に、街に、地球にうるおいを

2018 Japan Beverage Report

Contents

- 01 編集方針
- 02 ジャパンビバレッジグループの概要
- 03 トップメッセージ
- 05 ジャパンビバレッジグループの事業紹介
- 07 **特集1** 自動販売機に関わる各場面において
お客様に安全・安心をお届けします
- 09 **特集2** 様々なサービスを通じて
お客様の職場環境を潤いのあるものにします
- 11 **特集3** リサイクルを通じて
環境を学ぶ機会を提供しています
- 13 **特集4** スポーツや地域清掃を通じて
社会の豊かさに貢献します
- 15 **特集5** 全国121支店 各支店の取組み
- 16 環境マネジメント&パフォーマンス報告
- 18 第三者意見



編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、および環境の取組みを紹介する会社案内と環境報告書の役割を果たします。

ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

● 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2012年版

● 報告対象範囲

ジャパンビバレッジグループ

※環境報告データの対象範囲が異なる場合は、範囲を別途記載しています。

● 報告対象期間

2017年1月1日～2017年12月31日

※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

● 発 行

2018年5月(次回2019年5月予定)



ジャパンビバレッジグループの概要

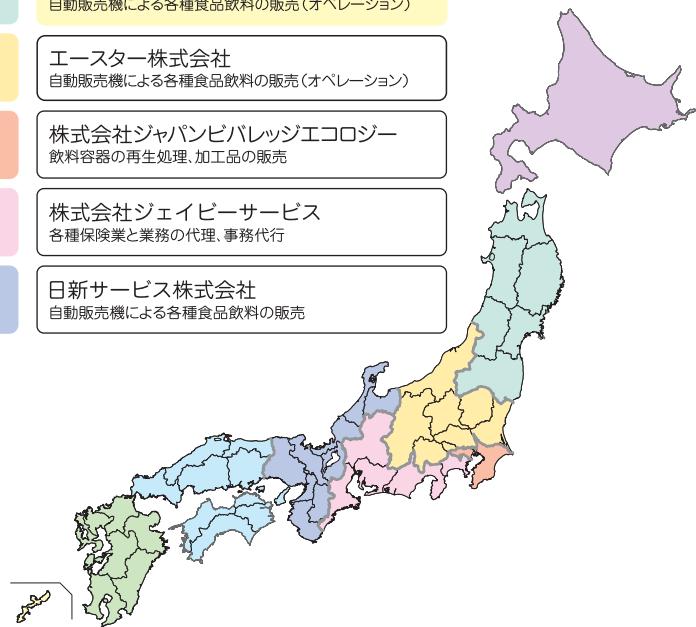
ジャパンビバレッジホールディングスの事業概要

社名 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
 本社 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル
 創業 1958年7月 ※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立
 資本金 1億円
 事業内容 グループ全体の経営戦略の策定・推進
 自動販売機による各種食品飲料の販売

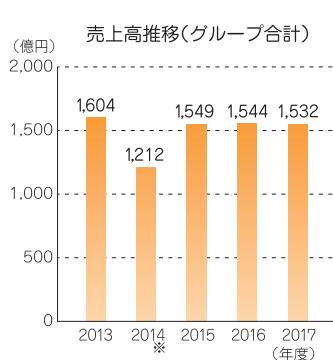
ジャパンビバレッジグループ



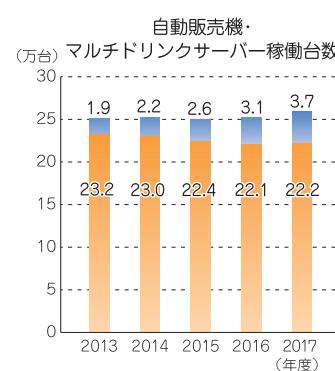
- 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
グループ全体の経営戦略の策定・推進
自動販売機による各種食品飲料の販売
- 株式会社ジャパンビバレッジ中四国
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- 株式会社ジャパンビバレッジ北海道
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- 株式会社ジャパンビバレッジ九州
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- 株式会社ジャパンビバレッジ東北
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- 株式会社ジャパンビバレッジ沖縄
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- エースター株式会社
自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)
- 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー
飲料容器の再生処理、加工品の販売
- 株式会社ジェイビーサービス
各種保険業と業務の代理、事務代行
- 日新サービス株式会社
自動販売機による各種食品飲料の販売



DATA



※2014年度は9か月間の数値となっております。



■自動販売機 ■マルチドリンクサーバー



※各年4月1日時点の人数です。

※従業員数には、パート・アルバイトを含みます。

魅力ある商品とサービスを通じて 人・街・地球上 豊かな未来を創造します

自動販売機オペレーターとして

ジャパンビバレッジグループは1958年7月に創業し今年で60周年を迎えました。これまで、自動販売機オペレーター事業をはじめとし、企業内売店の運営、近年ではマルチドリンクサーバーやコーヒーマシンの展開などを行ってまいりました。創業以来順調に発展してまいりましたのは、ひとえに皆様のご愛顧、ご支援のたまものと深く感謝申し上げます。今後はこれまでの事業活動を活かし、より一層魅力ある商品と最高のサービスを提供できるよう事業展開をしてまいります。

お客様のニーズへの対応

お客様のニーズは日々変化しています。お客様の嗜好や飲料のトレンドへの対応は新商品の導入や季節に対応したラインナップ展開で対応しています。一例を申し上げると、今年からマルチドリンクサーバーの商品にみそ汁を導入します。ボタン1つで簡単にみそ汁ができるので、職場やオフィスの休憩時に気軽にご利用いただけるものと思っております。

また、昨年から販売手数料の支払通知書を紙の案内からWebに切り替えを行っています。ペーパーレスになることでお客様の事務管理の軽減が図れ、さらに環境面では紙の使用量削減に繋げることができます。

資源循環の取組みでは、飲料空容器のリサイクルに取組む「リサイクル・プラザJB」が今年で設立15年を迎えました。飲料を販売する事業者として、飲み終わった後の容器は責任をもってリサイクルすることでお客様に安心を提供いたします。

今後も事業の各場面にてお客様のニーズに対応できるよう取組んでまいります。

全国14社 121支店の事業展開

ジャパンビバレッジグループは全国14社121支店で事業展開をしています。お客様へのサービスは、各地域の特性やニーズに対応することが大切です。これらにスピーディかつ細やかに対応できるよう、今後も各社各支店で運営体制強化を図ってまいります。また、従業員の一人ひとりがお客様に明るく元気に対応し、満足いただけるサービスを提供することが重要だと考えています。そのため、昨年度から実施している働き方改革をさらに推進し、心身ともに健康でより一層仕事にやりがいが持てるよう取組んでまいります。

今後も末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 **及川 岡**

・経営理念・

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

・モットー・

1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しません。

5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向かって、「生き活き」とした魅力ある職場をつくります。



ジャパンビバレッジグループ環境方針

制定:平成12年 8月1日
改訂:平成28年12月26日

基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

基本方針

我々は、自動販売機・リテール機による各種食品飲料の販売において、環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境への負荷低減を目指し、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. ジャパンビバレッジグループの事業活動、商品、サービスに関する影響を常に認識し、事業運営に即した環境目標を設定し、定期的に見直し環境汚染の防止に努めると共に継続的に改善します。
2. 環境関連法令及びジャパンビバレッジグループが同意した、その他の要求事項を順守します。
3. 環境に関する社内研修を繰り返し実施して、全従業員のレベルアップを図りお客様の環境保全活動の一助となるように努めます。
4. 重点的に取り組む内容については、以下のとおりとします。
 - ①自動販売機・リテール機による環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ②車輌に関わる環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
 - ③3R(リデュース・リユース・リサイクル)に努めます
 - ④事業所において水を大切に取扱い、自然界における水の健全な循環に貢献します
 - ⑤事業所におけるエネルギー使用の効率化に努めます
5. 環境保全を行なう地域・企業・団体等の活動に協力します。また利害関係者に対して、環境保全活動の理解と協力を要請し、積極的な情報開示に努めます。

本環境方針は、組織で働くまたは組織のために働くすべての人々に、周知すると共に一般に開示します。

ジャパンビバレッジグループの事業紹介

ジャパンビバレッジグループは、業界No.1の自動販売機オペレーターとして、環境のテーマに「グリーン・オペレーション」を掲げ、うるおいと環境に配慮したサービスをお客様にお届けしています。

Package

パッケージ自動販売機事業

春・夏・秋・冬の季節に合わせた各種飲料メーカーの人気商品を取りそろえ、お客様の要望と業態に合わせた商品構成を提案しています。また、食品の自動販売機をあわせて設置することで、オフィスや職場に休憩スペースを実現することも可能です。



コンビ機



メーカー機



ヌードル機



メーカー機



紙パック機

Cup

カップ自動販売機事業

本格レギュラーコーヒーをはじめとしたカップ飲料を展開しています。ジュース・炭酸飲料もありますので季節毎に商品を変更し、バリエーション豊かな飲料を皆様に提供します。また、今年は、9オンスのカップデザインを新しくしました。きめ細やかなオペレーション体制により最高品質の味をご提供します。



カップ機



9オンスカップ新デザイン

リテール事業

オフィスの休憩に欠かせないマルチドリンクサーバー(自動粉末給茶機)とコーヒーサーバーなどを展開しています。マルチドリンクサーバーはお茶、コーヒー、紅茶、機能性飲料などの定番商品のほか、新たにみそ汁の取扱いもはじめます。お客様の要望に応じてバラエティ豊かな商品のラインナップで対応いたします。



みそ汁の取扱いを開始

かつお風味と昆布のうまみをベースにしたみそ汁です。
国産ネギを配合し
本格的な味わいに仕上げました。

ジャパンビバレッジグループのグリーン・オペレーション

提案 販売 回収 適正処理 資源再生

をトータルでコーディネートしています。



お客様のニーズにあわせた各種自動販売機をご提案します。

1
提案・販売



オペレーションに使用する車輌は、
低公害車・ハイブリッド車を計画的に導入しています。

**適正処理
資源再生**



回収した飲料空容器は、「リサイクル・プラザJB」をはじめ、全国のネットワーク企業でリサイクルを実施しています。

2
回収



自動販売機の横に設置している「回収ボックス」の中の飲料空容器をきちんと回収し、支店に持ち帰ります。

特集 1

自動販売機に関する各場面にお お客様に安全・安心をお届けしま

ジャパンビバレッジは、自動販売機の導入から商品選定、メンテナンス、そしてリサイクルまでの自動販売機の一生(ライフサイクル)の各場面で、1台ずつきちんと活躍できるよう、サポートしています。

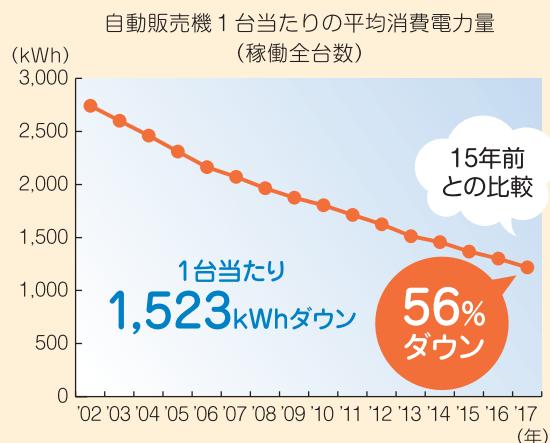
お客様にベストな
ご提案をします

自動販売機の導入

自動販売機の採用にあたっては、自動販売機メーカーと調整し当社仕様にしたもの導入しています。また、定期的にジャパンビバレッジオリジナルの機材を開発し市場展開を行っています。



環境面では、消費電力量の削減に取組み、目標値を掲げ環境負荷低減に取組んでいます。



安心で美味しい商品を
提供します

商品選定・テストの実施

商品企画部門にて各メーカーの商品を選定します。カップ飲料の場合、新しい商品を展開する際には機材部門にて実際に自動販売機で販売する前に原料チェックを行います。販売時を想定し、溶解性、吐出量、味覚、微生物の確認を行い、問題が無いかどうか確認します。これによりお客様に安心していただける商品を提供致します。



担当者の声

自動販売機の導入から廃棄まで責任を持って取組みます。

機材部ではカップ飲料の適正試験を行い、動作確認並びに商品のクオリティーを最大限に引き出す設定データを追求しています。品質面においてもカップ自動販売機の微生物検査等を行い、稼動機の衛生管理状態を確認することでお客様に安心して飲料を購入いただけるように取組んでいます。

また、自動販売機本体の取組みでは、オーバーホール整備の実施や部品のリユース、さらに廃棄自動販売機のリサイクル処理推奨など環境に配慮した運用をしています。自動販売機の導入から廃棄、いわゆる「川上」から「川下」まで責任を持って対処するよう日々心掛けています。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 機材部 技術支援課 係長 山田 博之





オペレーション

ルートセールスが、自動販売機の商品の品揃え、清掃、空容器の回収等を行います。万が一の故障時は専門のメンテナンスが迅速に対応します。きめ細やかなサービス体制でお客様に安全・安心を提供します。



お客様第一で
サービスを展開しています

オーバーホール

ジャパンビバレッジは定期的に自動販売機をオーバーホールしています。オーバーホールには、コンビ機はトータル12時間/台、カップ機は30時間/台をかけて仕上げます。このように自動販売機を1台1台丁寧に整備することに取組んでいます。

オーバーホールの流れ

-  ① 機械内及び整備箇所の確認
-  ② 機械を分解し、機内部品を取り外した後、必要に応じて塗装
-  ③ 部品は定期交換、もしくは分解整備時に必要に応じて交換
-  ④ 自動販売機に機械・部品を全てセット。最後に稼働テストを行い完了

自動販売機を
大切に扱っています

リサイクル

自動販売機は役目を終えて廃棄される際にはきちんと分別されリサイクルされます。廃棄物処理法に則り、適正に処理できる業者にお願いし可能な限りリサイクルします。



素材ごとに分別して
リサイクル

担当者の声 | 毎日のコミュニケーションを大切にしています。

毎日のオペレーション活動の中で大切にしているのはコミュニケーションです。カップ自動販売機は事業所内の設置が多く、お客様とお話できる機会も多いので、その際は新商品の紹介などをさせていただいている。この会話の中で様々なご意見や要望もいただくことがあります。例えば自動販売機の蛍光灯の消灯依頼などについては、隨時対応させていただいております。

また、支店内ではミーティングを適宜行い、日々の業務で起こった事例、自動販売機の清掃のポイント等の情報を共有しています。今後も各場面でコミュニケーションをとり、より良いサービスを提供できるよう取組んでまいります。

株式会社ジャパンビバレッジセントラル 磯子支店 ルートマネージャー 越石 優



特集 2

様々なサービスを通じて お客様の職場環境を潤いのあるも

ジャパンビバレッジは自動販売機をはじめとする様々なサービスでお客様の職場環境の充実、さらには働き方改革を支援いたします。

ピチローソンと 自動販売機のセット提案

お客様のオフィス内の飲食に対するニーズにお応えするために、自動販売機とピチローソンのセット提案を始めました。自動販売機と合わせて導入することで、わざわざオフィスの外に出なくても、飲料、軽食、おやつ、ガム等を購入できます。小腹がすいた時、ちょっと甘いものが食べたくなった時などにとても便利です。なお、電子マネー決済のため、現金の取扱いや社内管理も不要です。

お客様の働き方に合わせた設置をすることで「働き方改革」の一助としてご活用いただければと考えています。
(現在東京23区内限定で展開しています。)



ピチローソンと自動販売機



ピチローソンイメージ



ピチローソンの電子マネー決済

TOPICS 支払通知書のWeb明細サービスを開始

お客様に発行している「自動販売機販売手数料支払通知書」は、これまで紙の通知書で発送していましたが、2017年8月よりWeb明細サービスを開始しました。これによりお客様は郵送される通知を待つ

ことなくスピーディーなデータの取得と加工、さらには電子保存も可能となっています。ジャパンビバレッジは、今後もお客様のエコ活動や業務軽減に繋がるような取組みを行ってまいります。

(担当会社:株式会社ジャパンビバレッジホールディングス事務管理部)

紙の通知書



Web明細サービス

支払通知書
ダウンロードサービス画面



Web支払通知書



のにします



自動販売機を快適にご利用いただくために

各種機能を追加した自動販売機は、職場、公共スペース等様々な場面で活躍しています。またいざというとき役に立つ機能で皆様に安心を提供いたします。

電子マネー自動販売機

Suica、PASMO等の電子マネーで飲料を購入でき、現金を用意する手間が省けます。



災害時飲料提供自動販売機

災害発生時にはキースイッチなどで飲料を提供することができます。なお、バッテリー搭載タイプの場合は停電時でも飲料の取出しが可能です。



災害時飲料提供自動販売機

ユニバーサルデザイン自動販売機

ボタンや取り出入口の位置やテーブルをお子様や車いすの方も購入しやすいように配置した、人にやさしいデザインの自動販売機です。



ユニバーサルデザイン自動販売機

喫煙スペースと自動販売機のコラボレーション

喫煙スペースと自動販売機をコラボレーションさせて、飲み物を飲みながら休憩できるスペースのご提案が可能です。たばこを吸う方・吸わない方が共存できる空間作りをお手伝いします。(日本たばこ産業株式会社様と共同実施)



喫煙スペースと自動販売機

担当者の声

営業活動を通じてより良い提案をめざします。

営業職に就いた当初は、飛び込み営業にて門前払いをされることも多かったのですが、そんな中あるお客様との出会いが私の営業活動に大きな影響を与えてくれました。設置に至るまでに何度も通い、設置後も故障対応等で更に通うことで、お話を聞く機会が増えました。そしてそのお話の中のご意見や要望に対し1つ1つに自分なりに精一杯対応したのが良かったのか、徐々に信頼をいただけるようになりました。今後もこの経験をもとにお客様と積極的に話すよう努め、より良い提案ができるよう日々営業活動に励んでいきます。

株式会社ジャパンビバレッジ九州 CR福岡支店 営業担当係長 樋口 智美



特集 3

リサイクルを通じて 環境を学ぶ機会を提供しています

販売後に回収した飲料空容器は責任をもってリサイクル・適正処理を行います。

また、「リサイクル・プラザJB」では、多くの皆様にリサイクルの現状や意義について知っていただくために、工場見学や環境教育活動に取組んでいます。

飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

缶・ビン・ペットボトルのリサイクル工場として2003年5月に設立。1日あたり約25tのリサイクルを行っています。

●リサイクル実績



缶 金属加熱炉にてペレットに加工した
後に製鉄会社へ出荷

ビン ビンの色別(透明・茶色・緑色)に手
選別しガラスリサイクル企業へ出荷

ペットボトル 手選別後ベール品に加工しペット
ボトルリサイクル(ボトルtoボトル)
企業へ出荷

●リサイクル実績
2017年度処理量 **6,817t**



リサイクル・プラザJB外観



手選別ライン



缶から加工されたアルミペレット



金属加熱炉

●工場見学の受入れ

子どもから大人までどなた様でも1名様から見学を受付けています。実際にリサイクルの現場を目で見て感じていただくことができます。

●年間工場見学者数
2017年度 **1,095人**



工場見学の様子

担当者の声

安全稼働でリサイクルの効率化をはかります。

リサイクル・プラザJBの施設管理担当者として、工場の安全稼働のために日々の設備点検とあわせて設備故障を減らす取組みを行っています。設備故障は、応急措置だけを施してすぐに工場を動かしてしまうと真の原因が不明のため、すぐに同じ故障が再発してしまいます。真の故障原因を突き止め、1つずつ解決していくことで故障率の低減を図っています。

このように設備故障を減らすことで工場ラインの停止時間も削減されています。その結果リサイクルの効率アップと生産性向上にも繋がっています。これからも安全第一を心掛けリサイクルに取組んでまいります。

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 運営部 施設担当 係長 尾崎 公彦





環境出前授業の実施

小学校からの要望に応じて環境出前授業を実施しています。飲料空容器のリサイクルについて一通り説明し、その後実際にリサイクル製品も見て・触れていただきます。最後には、分別体験ゲームやリサイクルクイズを行い、子どもたちが楽しみながら学べるよう工夫しています。

- 埼玉県環境学習応援隊 登録事業者
- さいたま市 環境教育拠点施設



環境出前授業の様子
さいたま市 環境教育拠点施設

第7回「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールの開催

毎年夏休み期間中にリサイクル・プラザJBを見学いただいた小学生を対象に開催している「ぼくとわたしのリサイクル」作文コンクールは、これまで7回開催しています。昨年は開催期間中に810名の方にお越しいただき応募作文数は190通でした。優秀作品はジャパンビバレッジのホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

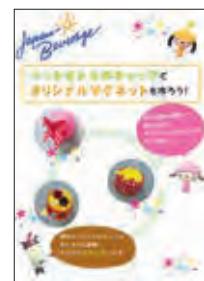
ホームページ <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/contest/>



表彰式
作文コンクールチラシ

SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバルへの出展

2017年12月2日に埼玉県が主催する「SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル」に出展しました。展示ブースにはリサイクル・プラザJBでリサイクルされた製品の展示、そして「ペットボトルのキャップをリユースしてオリジナルマグネットを作ろう!」と題してワークショップも開催しました。本フェアには約900名の方にお越しいただき、多くの皆様にリユースとリサイクルの体験をしていただくことができました。



ワークショップの様子
ワークショップのパネル

リサイクル・プラザJB工場見学
環境学習に関するお問い合わせ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/>
電話 048-652-6671

特集 4

スポーツや地域清掃を通じて 社会の豊かさに貢献します

ジャパンビバレッジは、スポーツを通じて皆様に感動をお届けします。

また、各事業所においては少しでも地域社会との共生が図れるよう、近隣の清掃活動に取組んでいます。

レスリング部 創部40周年

1978年に創部したジャパンビバレッジのレスリング部は今年で40周年を迎えました。歴代15名の選手が在籍し、レスリング選手の育成とスポーツ振興に努めています。これまで男子選手では、ソウル五輪金メダルの小林孝至選手、ロサンゼルス五輪銀メダル、バルセロナ五輪銅メダルの赤石光生選手をはじめ数々のオリンピアン、メダリストを輩出しています。これからも、スポーツを通じて皆様に感動をお届けしてまいります。



小林孝至選手(1985年~1992年在籍)



1982年
アジア大会
48kg級金メダル
1988年
ソウルオリンピック
48kg級金メダル



川井 梨紗子選手(2017年パリ世界選手権)

レスリング部選手紹介

現在は、川井梨紗子選手、浜口京子選手の2名が所属しています。

【所属選手】

川井 梨紗子(かわい りさこ)

2016年リオ五輪(63kg級)へ出場し、五輪初出場ながら金メダルを獲得。2017年4月よりジャパンビバレッジレスリング部に所属しています。2017年は、世界選手権(フランス パリ)をはじめ国内外で4連勝中と絶好調です。この勢いで2020年東京オリンピックを目指します。



【所属選手】

浜口 京子(はまぐち きょうこ)

14歳からレスリングを始め、全日本選手権・世界選手権等で優勝を重ね、重量級のトップ選手として活躍しています。2004年アテネ五輪より女子レスリングが五輪種目に加わり、2008年北京、2012年ロンドンと3大会出場。アテネ、北京(72kg級)では銅メダルを獲得。



TOPICS 女活の取組み

ジャパンビバレッジの女性活躍推進「女活」では、各社で選任された女活リーダーが、全社から出た意見・要望について話し合う報告会を定期的に行っています。その中でも多くの意見が集まった「仕事と育児の両立」については、より円滑に仕事への復帰ができるよう、また多様な働きができるよう『出産・育児ガイドブック』を作成しました。今後も女性が活躍できる職場環境づくりについて議論を重ね最新情報を発信していきます。



「女活」報告会の様子



各地域での清掃活動

ジャパンビバレッジは各地域で清掃活動に取組んでいます。事業所近隣のゴミ拾い、地域団体主催の清掃イベントに参加をするなど、部署によって実施形態は様々です。



事業所近隣の清掃活動
(株式会社ジャパンビバレッジセントラル 岐阜支店)



事業所近隣の清掃活動
(株式会社ジャパンビバレッジセントラル 厚木支店)



事業所近隣の清掃活動
(株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)



四谷ゴミゼロデーへの参加
(株式会社ジャパンビバレッジホールディングス)



まるごと沖縄クリーンビーチへの参加
(株式会社ジャパンビバレッジ沖縄)

沖縄県環境保全功労者表彰

沖縄県内で環境保全活動に取組む小中学校や沖縄クリーンコーストネットワーク(清掃活動団体、事務局は第十一管区海上保安本部)への支援を2010年から実施しています。このたび、本取組を継続して行っていることが評価され、2017年10月に沖縄県翁長雄志知事より「沖縄県環境保全功労者表彰」をいただくことができました。

今後もジャパンビバレッジは沖縄の豊かな自然を守るために活動する皆様の支援を続けてまいります。



沖縄県環境保全功労者表彰式
(2017年10月8日)



表彰状

特集5

全国121支店 各支店の取組み

ジャパンビバレッジは全国に121の支店があり、各支店で様々な取組みを行っています。そのうち2支店の取組事例をご紹介します。

安全運転で無事故継続に取組みます

株式会社ジャパンビバレッジイースト 上越支店

上越支店では安全運転のために、朝の出発時は見送りと合わせて車輌の窓ガラス・モニター等のボディ清掃、そして1日の最後には車内の5Sができているかどうかのチェックを行っています。このように車輌全体を毎日きれいに保つことが安全運転には大切であると考えて取組んでいます。このほかにも、ルート同乗教育時には車間距離の指導や個人の運転の癖など気になる部分を適宜指導したり、定期的に所内での車輌研修を行ったりしています。

豪雪地域で冬は雪道走行となる上越支店ですが、このような地道な取組みにより2010年3月から連続無事故を維持しています。今後も全所員で安全運転に取組み、無事故を継続できるよう活動してまいります。



毎日の車輌清掃



車内の5Sチェック

自動販売機故障率低減にむけて

株式会社ジャパンビバレッジウエスト 西大阪支店

自動販売機の故障率を減らすために、西大阪支店ではルート同乗教育とメンテナンス講習を実施しています。ルート同乗教育では、専任トレーナーがルートセールスに1日同乗し、一人では気がつきにくい巡回時のポイントを指導しています。

また、故障対応へのスキルアップとして、メンテナンス担当者による現地での修理と合わせてルートセールスへの教育も行っています。その結果、ルートセールスの一人ひとりが様々な自動販売機の故障への対応方法を習得でき、故障率を5.3%から3.8%に削減することができています。これからも更に故障率を低減できるよう取組んでまいります。



ルート同乗教育



ルートセールスへの故障対応指導

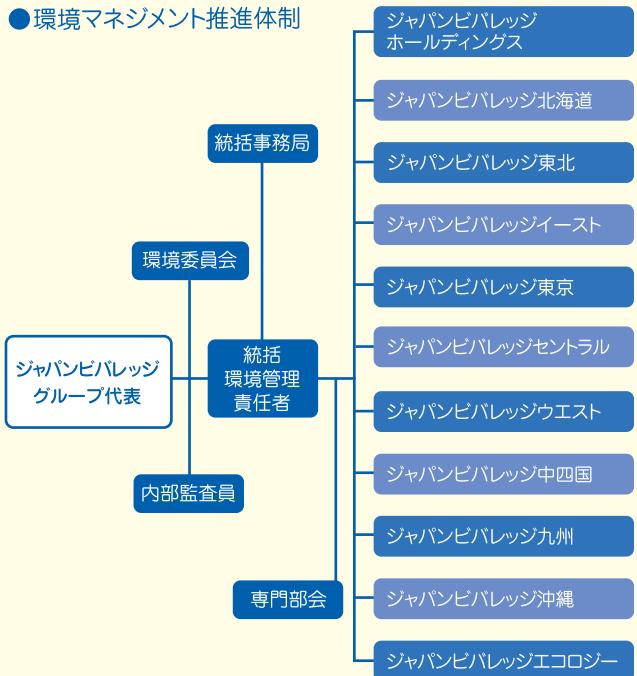
環境マネジメント&パフォーマンス報告

環境マネジメントシステム

ジャパンビバレッジの環境マネジメントシステムを継続的に推進するため、組織、役割および責任を定めています。

現在は、グループ11社の本社・支店の合計121サイトで運用を行っています。

●環境マネジメント推進体制



ISO14001規格改訂への対応

ISO14001の規格が2004年版から2015年版に改訂されたことに伴い、ジャパンビバレッジも2017年度より2015年版に運用を移行しています。移行内容については全国9ヶ所にて環境管理者研修を行い、運用変更点などを周知しました。



環境管理者研修

ISO14001定期・規格移行審査

2017年度は定期・規格移行審査を9月12～15日の日程で実施しました。17サイトに審査が入り、無事認証継続が決定しています。



ISO14001定期・規格移行審査の様子

法令順守 廃棄物処理法への対応

2017年10月に廃棄物処理法が改正され、水銀を含む廃棄物への管理内容が強化されました。ジャパンビバレッジは「蛍光灯」の排出が該当しますので、全社で対応しています。また、排出者の責任として廃棄物がきちんと処理されているかどうか、廃棄物処理業者の現地確認を年1回実施しています。



現地確認の様子

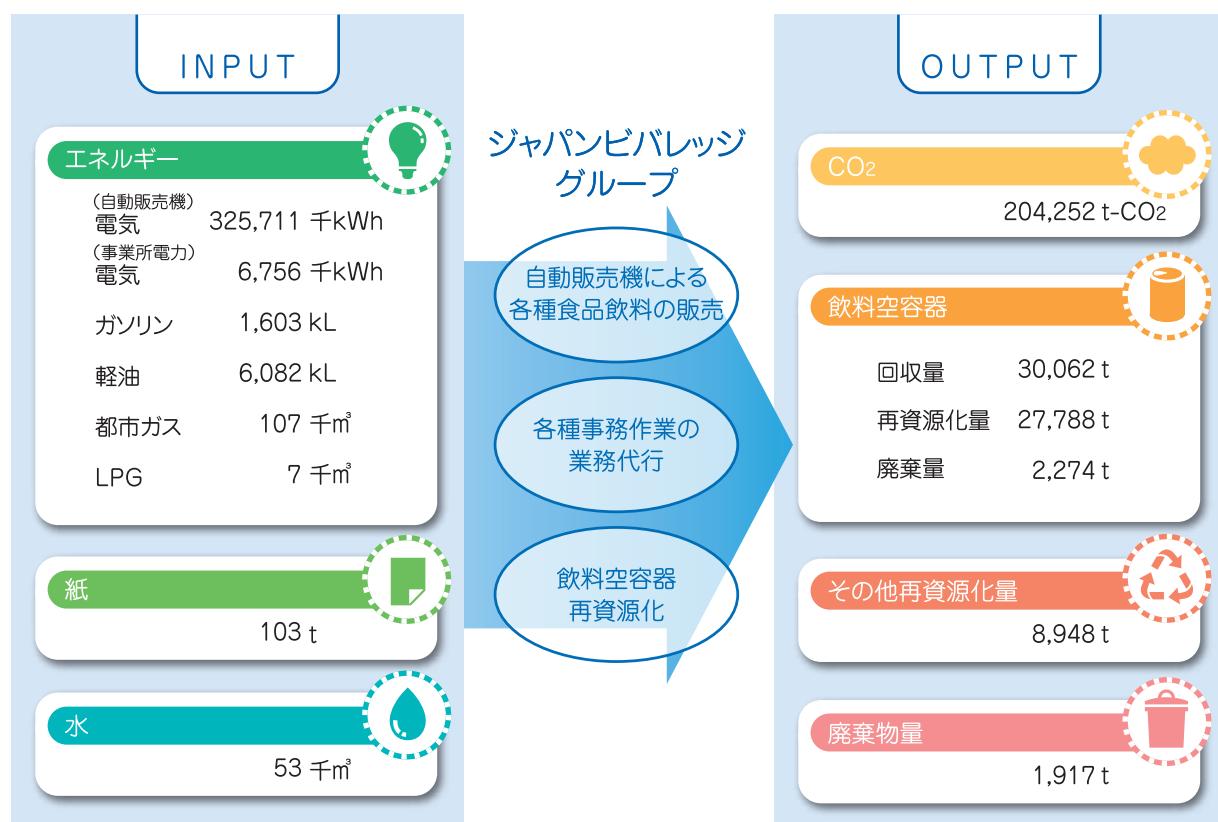
環境マネジメント&パフォーマンス報告

環境目標と実績

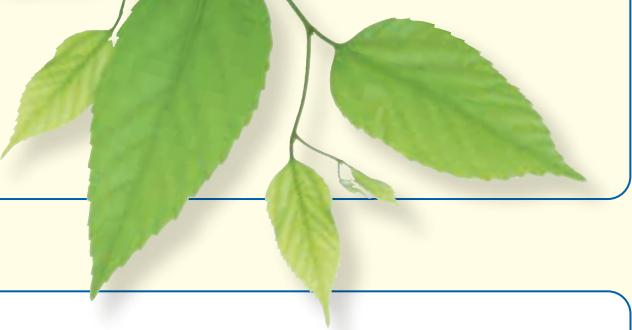
ジャパンビバレッジグループは、「グリーン・オペレーション」をテーマに掲げ、環境活動を行っています。2017年度は、3つの環境目標を掲げ取組みました。結果は以下の通り、2つの目標を達成することができました。特に商品廃棄本数の削減は123.8%の達成となり、廃棄重量にすると117t削減できました。大幅な廃棄物発生抑制がでております。

項目	目標値	目標達成率	評価
① 自動販売機・マルチドリンクサーバー・コーヒーマシン1台あたりにかかるCO ₂ 排出量の削減	2016年度比5%削減	99.9%	×
② 商品廃棄本数の削減	2016年度比5%削減	123.8%	○
③ 所内省エネの実施 (各部署にて省エネ実施事項を定め取組む)	グループ全体の消費電力量を2016年度比1%削減	104.0%	○

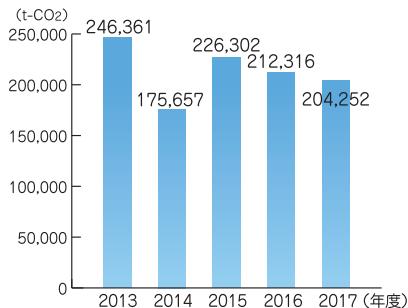
事業活動における資源投入量と排出量



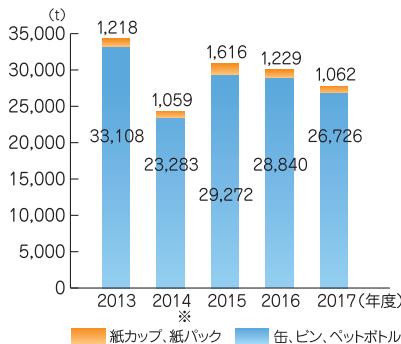
〔二酸化炭素の算出方法について〕「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく換算係数を適用



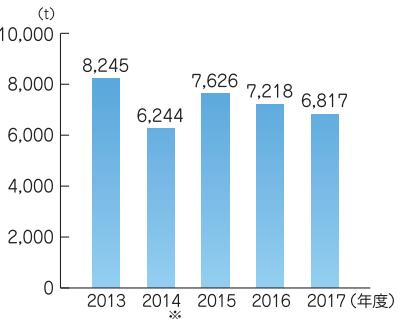
CO₂排出量推移



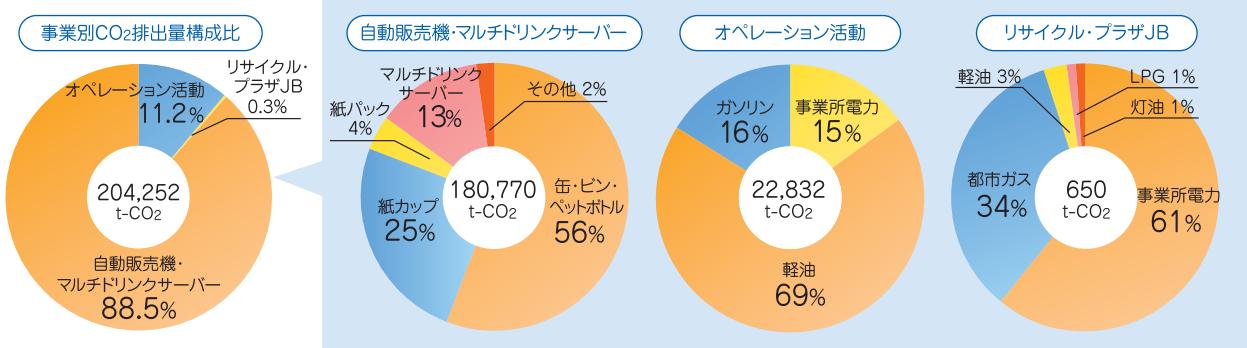
再資源化処理量推移(ジャパンビバレッジグループ全体)



再資源化処理量推移(リサイクル・プラザJB)



2017年度事業別CO₂排出量構成比



第三者意見



慶應義塾大学経済学部 教授
細田 衛士 氏

EUは循環経済(日本でいう循環型社会)の構築を急ぎ足で進めている。2030年までに都市ごみ(家庭系のごみ)では65%、包装廃棄物では75%のリサイクル率達成というのが共通目標だ。これと比べると日本の政策展開は遅い。どうしたものか。

ここは民間事業者の主導で循環経済を作るしかない。特に容器包装類は資源循環政策の主要ターゲットであり、ジャパン

ビバレッジのような事業者の役割が大いに期待されるところだ。業界No.1の自動販売機オペレーターであるジャパンビバレッジは、環境対応力でも業界No.1であることが求められる。この点グリーン・オペレーションは一貫した資源循環のオペレーションであり大いに評価できる。自動販売機の導入から廃棄まで、つまり川上から川下まで責任をもって環境配慮対応できるところが強みだ。

こうした努力の結果はどうだろうか。商品廃棄本数の削減や所内の省エネは見事に目標を達成した。残念ながら自動販売機・マルチドリンクサーバー等1台あたりのCO₂排出量は0.1%ポイント目標に足りなかった。0.1%ポイントであれ未達は未達として認識する事は重要だ。次期には是非目標を達成して欲しい。

環境出前授業や作文コンクール、地域

清掃活動などの社会貢献は今後も一層の展開が望めそうだ。加えて、女性が生き生きと活躍できる職場環境作りも大いに期待できる。経済・社会・環境、どれをとってもジャパンビバレッジが業界No.1であることを強く望んでいる。

PROFILE

慶應義塾大学経済学部卒業後、同大学院にて経済学研究科博士課程単位取得。1994年より現職。専門は「環境経済学」「理論経済学」。経済産業省「産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会委員、環境省「中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会委員などを歴任。環境保全功労者賞(2006年)、環境科学会学会賞(2016年)受賞。

著書に「グッズとバッズの経済学—循環型社会の基本原理」(東洋経済新報社)、「資源の循環利用とはなにか バッズをグッズに変える新しい経済システム」(岩波書店)など多数。



「Japan Beverage Report 2018」を お読みいただき、ありがとうございました。 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、
および環境の取組みをステークホルダーの皆様にわかりやすく
お伝えすることを目的に発行しています。

皆様からご意見、ご感想をいただき、
活動の内容や本レポートをより良いものにしていきたいと考えております。
つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、
ファックスにてお送りいただけると幸いです。

2018年5月

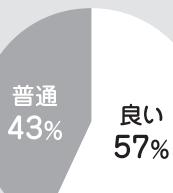
本レポートに関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611
ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

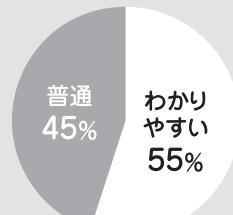
「Japan Beverage Report 2017」のアンケート結果



全体評価



内容のわかりやすさ



ご意見(一部抜粋)

- 各社や各支店紹介を取り入れてほしい。また、利用者側の声も紹介してほしい。
- リサイクル事業を自社でおこなっていることが評価できる。もっとPRすると良いのでは。
- 現在の社会情勢とあわせた環境への取組みを今後もおこなってほしい。

ご意見をふまえ、
内容をよりわかりやすくするため
右記の通り改善を図りました。

- ◎今年は2支店の独自の取組みを掲載しました。
◎リサイクル事業は今年も特集で掲載しました。本事業はいわゆる「静脈産業」の部分になりますが、地道に取組み、本紙、工場見学およびHP等を通じて情報発信していきます。
◎今年は「働き方改革」に関わる取組みを掲載しました。

「Japan Beverage Report 2018」へ 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

Q1

本レポートを読んでどのように感じられましたか。

- 全体評価 良い 普通 良くない
内容のわかりやすさ わかりやすい 普通 わかりにくい

Q2

本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの概要(p2)
- トップメッセージ(p3-4)
- ジャパンビバレッジグループの事業紹介(p5-6)
- 特集1 自動販売機に関わる各場面においてお客様に安全・安心をお届けします(p7-8)
- 特集2 様々なサービスを通じてお客様の職場環境を潤いのあるものにします(p9-10)
- 特集3 リサイクルを通じて環境を学ぶ機会を提供しています(p11-12)
- 特集4 スポーツや地域清掃を通じて社会の豊かさに貢献します(p13-14)
- 特集5 全国121支店 各支店の取組み(p15)
- 環境マネジメント&パフォーマンス報告(p16-18)
- 第三者意見(p18)

Q3

ジャパンビバレッジグループの取組みについての
ご意見・ご感想、良い点や改善すべき点があればお書きください。

Q4

どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様 近隣住民の方 お取引先 政府・行政関係 教育・研究関係
- 金融・投資関係 NGO・NPO 報道機関 企業のCSR・環境担当者
- ジャパンビバレッジグループの社員・家族 学生 その他()

Q5

あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年 齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
性 別 男性 女性

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部

FAX:048-651-6611



ジャパンビバレッジグループ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

●発行・お問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証用紙を使用しています。